

## OSSTech Samba3.0 パッケージ修正内容 詳細



OSSTech

オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

更新日: 2013年8月26日

リビジョン: 23.0

## 目次

1. 概要.....	1
2. Samba 3.0.35 の修正内容.....	2
2.1 Samba 3.0.37 に統合されている修正.....	2
2.2 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ.....	5
2.3 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ.....	7
3. Samba 3.0.31 の修正内容.....	8
3.1 Samba 3.0.32/3.0.33 に統合されている修正.....	8
3.2 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ.....	11
3.3 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ.....	12
4. Samba 3.0.30 の修正内容.....	14
4.1 Samba 3.0.31 に統合予定の修正.....	14
4.2 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ.....	16
4.3 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ.....	18
5. Samba 3.0.24 の修正内容.....	19
5.1 Windows Vista 対応パッチ.....	19
5.2 セキュリティ修正パッチ.....	20
5.3 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ.....	21
5.4 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ.....	24
6. 更新履歴.....	26

## 1. 概要

本ドキュメントは、OSS テクノロジ提供の Samba パッケージに独自に適用している修正内容について記載しています。本ドキュメントの対象となる Samba パッケージは、**samba-3.0.35-1.12.osstech**、**samba-3.0.31-1.32\_OSSTECH**、および **samba-3.0.24-1.47\_OSSTECH** です。

ご利用の Samba パッケージのバージョンの確認は、次のコマンドで確認することができます。

```
$ /usr/sbin/smbd -V  
Version 3.0.35-1.12.osstech
```

## 2. Samba 3.0.35 の修正内容

OSS テクノロジ提供の Samba 3.0.35-1.10.osstech には、以下のパッチが適用されています。

### 2.1 Samba 3.0.37 に統合されている修正

- Excel ファイルを上書き保存したときに、適切な ACL が設定されない問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=9a95b6cac2dea88cb9e9b428292dfca9d1e3e801>
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=08836722e63cfd6cfd88059dd3f10d98474f49cb>
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=60289187a91e23787be581b824076651230245b2>
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=11fbc11e396a300aed04a37d44411d287d4c17d3>
    - samba-3.0.35.git-acl1.patch
    - samba-3.0.35.git-acl2.patch
    - samba-3.0.35.git-acl3.patch
    - samba-3.0.35.git-acl4.patch
- Solaris8 でビルドできない問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=d09c9b459638242b9df53cc82a8849699d572486>
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=1868bfd40f7bf4caf9a3111611fa3a5169f4735>
    - samba-3.0.35.git-bug6066\_1.patch
    - samba-3.0.35.git-bug6066\_2.patch
- cifs.upcall バイナリが 2 重インストールされる問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=5202fa31b227d8dd9a3ddfab26f7933bfd349281>
    - samba-3.0.35.git-install\_cifsupcall\_twice.patch
- cifs.upcall の man ページが適切にインストールされない問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=fda450e4d6f9d2661235a3422c0db644a6c686b3>
    - samba-3.0.35.git-install\_man\_cifsupcall.patch
- log level が 10 以上でデバッグメッセージの出力処理で異常終了する問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=d3220d9d58477f2a6ef7a78c3cf05cb232b57aff>

- samba-3.0.35.git-nameresolution\_debug\_msg.patch
- utimes()をサポートしていないシステムでコンパイルできない問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=7a1408f89f1addff993d1e2dfb7462d12d0a2f48>
    - samba-3.0.35.git-bug6085.patch
- cifs.umount でアンマウント時に/etc/mstab を変更する処理を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=df341bd2b83cc67e31d5b91ae39b4f4f7619ffd0>
    - samba-3.0.35.git-bug4370\_mstab.patch
- デフォルト ACL が削除される問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=04fc826efb290ba4b1f173752efb37a4b87281f2>
    - samba-3.0.35.git-defaultACL.patch
- mount.cifs にいくつかのオプションを追加
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=a894bd4504f070233dd2785a62483090581f5bf3>
    - samba-3.0.35.git-fakemount\_mountcifs.patch
- getent group で winbindd が異常終了する問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=db4a435d235bedf48d668a0f4418dd46f38044ed>
    - samba-3.0.35.git-crash\_winbindd.patch
- security = domain で、DNS を利用できないときに、ドメインコントローラーを発見できない問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=58331a118dd6a7fb56e70afe6cf93ef7cfff7e81>
    - samba-3.0.35.git-bug6098.patch
- chroot を適切に利用するように修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=3086400b61ee3dda639c5520b539d4ff76e4d9c5>
    - samba-3.0.35.git-fixchroot.patch
- Windows7 対応
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=194fdee65f91e8ea88196d2cff1c678f868bb3df>
    - samba-3.0.35.git-bug6099.patch
- gssapi ライブラリのヘッダーファイルの探索パスを修正
  - <http://gitweb.samba.org/?>



- KB932762 を適用した Windows 端末からの接続時の問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=a15c816ba5fd4dcedd68beb1fcb0540de325c1cb>
    - samba-3.0.35.git-KB932762.patch
- Excel でファイルを上書き保存したときに、ACL が適切に設定されない問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=ef0d72513b5404f176186632aab67d7b87039ba2>
    - samba-3.0.31.git-office-acls-by-winbind-user-bug2346.patch
- CVE-2009-2906 の脆弱性の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=3c5db860ab3665697dfcae2475542c05eff4c22b>
    - samba-3.0.30.git-CVE-2009-2906.patch
- CVE-2009-2813 の脆弱性の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=c7078ea2479e9963f7758e82bda247f48de2d4be>
    - samba-3.0.30.git-CVE-2009-2813.patch
- CVE-2010-2063 の脆弱性の修正
  - <http://www.samba.org/samba/ftp/patches/security/samba-3.0.37-CVE-2010-2063.patch>
    - samba-3.0.37-CVE-2010-2063.patch

## 2.2 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ

- 日本語 man ページの追加、および日本語 man ページのインストール処理の追加
  - samba-3.0.23d-i18nman.patch
- LDAP サーバーのホスト名にドメイン名が設定されていないとき、DNS による名前解決ができない場合などに、LDAP サーバーに接続できない問題を修正
  - samba-3.0.24-ads\_connect-ip.patch
- Solaris10 の AD 連携環境でパスワード変更ができない問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5432](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5432)
    - samba-3.0.28-pam\_winbind-chauthtok.patch
- パスワードの有効期限に近づいたアカウントに対して、Windows と同じく 14 日前から警告が表示されるように修正
  - samba-3.0.24-pam\_winbind-warn-expires.patch
- Solaris8 など Samba にリンクするスレッドライブラリが原因で、コネクションが頻繁に切断される問題を修正

- [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5024](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5024)
  - samba-3.0.24-solaris-libsmbclient-mt.patch
- Samba の提供するコマンド(smbclient など)に設定されているタイムアウト時間(10 秒)を 60 秒に変更する修正
  - samba-3.0.11-timeout.patch
- パスワードバックエンド ldapsam において、LDAP DIT に sambaAlgorithmicRidBase 属性がある場合、もしくは sambaNextRid 属性がない場合に algorithmic rid にフォールバックするための修正 (旧バージョンとの互換性確保)
  - samba-3.0.28a-ldapsam-algorithmic-rid.patch
- Solaris10 の ZFS でボリュームシャドウコピー機能を利用可能にするための、VFS 用モジュールの追加
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-February/051506.html>
    - samba-3.0.24-vfs\_shadow\_copy\_zfs.patch
- ファイル種別ごとに最大サイズを制限する vfs file\_quota モジュールの追加
  - samba-3.0.30-vfs\_file\_quota.patch
- security = server 設定時にドメインコントローラの探索に時間がかかるため、認証ダイアログの表示が遅延する問題の修正
  - samba-3.0.30-improve\_security\_response.patch
- Winbind による Active Directory/NT ドメイン連携時に、smb.conf の template homedir パラメータなどに %G マクロを利用したときに、グループ名が変換されず GID が利用される問題の修正
  - samba-3.0.30-winbind-groupname.patch
- Solaris10 で samba-vscan をビルドできるように修正
  - samba-vscan-0.3.6c-buildsolaris.patch
- log level = 0 で、ビルトインユーザーに関するエラーメッセージが繰り返し表示される問題を改善
  - samba-3.0.31-change\_loglevel\_create\_builtin.patch
- winbindd が select(2)で失敗したときにエラー番号を適切にログに出力するための修正
  - samba-3.0.31-winbindd-select-sterror.patch
- CVE-2010-3069 の脆弱性の修正
  - samba-3.0.37-CVE-2010-3069.patch
- Windows Vista/Windows 7 で読み取り専用属性のついたファイルを削除できない問題の修正
  - samba-3.0.35-delete-readonly.patch
- CVE-2011-0719 の脆弱性の修正
  - samba-3.0.28a-CVE-2011-0719.patch

- CVE-2012-0870 の脆弱性の修正
  - samba-3.0-CVE-2012-0870.patch
- CVE-2012-1182 の脆弱性の修正
  - samba-3.0-CVE-2012-1182.patch
- CVE-2013-0213, CVE-2013-0214 の脆弱性の修正
  - samba-3.0-CVE2013-0213-CVE-2013-0214
- CVE-2013-4124 の脆弱性の修正
  - samba-3.0-CVE2013-4124

## 2.3 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ

OSS テクノロジ提供のパッケージは、Fedora Core 用に提供されていた samba-3.0.24-12.fc7 をもとに作成しています。このパッケージで適用されていた以下のパッチを、OSSTech 提供のパッケージでも適用しています。

- winbindd の通信用パイプのディレクトリを” /tmp/.winbindd”から” /var/run/winbindd”に変更する修正
  - samba-3.0.0beta1-pipedir.patch
- smbd、nmbd、winbindd のログファイル名を” log.xxx”から” xxx.log”に変更する修正
  - samba-3.0.23-logfiles.patch
- nmbd などに -n オプションで NetBIOS 名を指定することを可能にする修正
  - samba-3.0.0rc3-nmbd-netbiosname.patch
- Winbind 連携利用時にグループ情報のパスワードエントリを” x”の代わりに” \*”を設定する修正
  - samba-3.0.23rc3-passwd.patch
- smbpool コマンドでユーザ名が指定されていないときに、NULL の代わりに” dummy”を設定する修正
  - samba-3.0.21pre1-smbpool.patch
- smbclient の -M オプション利用時に 138 番ポートを利用するように変更
  - samba-3.0.13-smbclient.patch

## 3. Samba 3.0.31 の修正内容

OSS テクノロジ提供の Samba 3.0.31-1.32\_OSSTECH には、以下のパッチが適用されています。

### 3.1 Samba 3.0.32/3.0.33 に統合されている修正

- VFS の recycle モジュール利用時に、他のユーザーによって削除されてゴミ箱に移動されたファイルにアクセスした際に、ファイルアクセス時刻が更新されるように変更
  - samba-3.0.28a-vfs\_recycle-touch.patch
- autoconf 2.60 でビルドできない問題を修正
  - [https://bugs.gentoo.org/show\\_bug.cgi?id=217272](https://bugs.gentoo.org/show_bug.cgi?id=217272)
    - samba-3.0.28a-AC\_USE\_SYSTEM\_EXTENSIONS.patch
- プリントジョブ名に%u を利用可能にする修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=2734fb1c50d5bb0d87c8793fc676a45315d0efca>
    - samba-3.0.31.git-printjob-username.patch
- log file パラメーターを設定しているときに、log.wb-<domain> ログファイルのログファイル名が変更されてしまう問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=4a8ba39d0dc7f487090a112e5a60294e28a3962c>
    - samba-3.0.31.git-winbindd-logfile-name.patch
- 競合条件により winbindd がクラッシュする問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=c93d42969451949566327e7fdbf29bfcee2c8319>
    - samba-3.0.31.git-winbindd-dead-child-race.patch
- net コマンドのいくつかのサブコマンドでユーザー名の指定が正常に処理されない問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=d29db976dcffef772044b1e5246ec6715d6afb9bb>
    - samba-3.0.31.git-net-ipc-with-username.patch
- smb.conf の interface オプションに lo を指定しているときに nmbd がストールする問題を修正
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=6acd5c086b0019f54749a67756975b3c0ba35ac0>
    - samba-3.0.31.git-nmbd-iface\_count.patch
- nss\_winbind 利用時に、結果として NSS\_UNAVAIL を返すときの errno を ENOENT を設定
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=5410ad4f4eb0162806778833362a68804d69196e>

- samba-3.0.31.git-nss\_winbind-NSS\_UNAVAIL.patch
- libsmclient を利用して DFS 共有にアクセス可能に拡張
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=888f922bd0d1c84a687d404e95ae314a9dd0aee1>
    - samba-3.0.25-smbc\_set\_credentials.patch
- libsmclient を利用したときに DFS 共有の ACL 情報が取得できない問題を修正
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=5e73ddba11cbf9ea2d6ca63be098720ff0d5a0d1>
    - samba-3.0.31.git-libsmclient-acls-on-dfs.patch
- Windows Vista SP1 に KB955302 を適用した環境で、Samba の共有のファイルを開くことができない問題を修正
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=d3e790fa70d083a53de221907c951580ce2537a4>
    - samba-3.0.31.git-vista-smb-signing.patch
- 共有の ACL の継承を禁止する機能が動作しない問題を修正
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=78941c166debc8315516d895b2ef77e52417f067>
    - samba-3.0.31.git-acls-cancel-inheritance.patch
- winbindd のメモリリークを修正
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=05a80132ea95f40fdc8d4cfa6f90d8ba472a0272>
    - samba-3.0.31.git-winbindd-free-extra\_data.patch
- netr\_ServerPasswordSet2 プロトコルを実装
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=a5b913dd31cc3c4d01458e6fcc0a03852a2738a2>
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=15fe1a3fa07493060a0155bd4f9f0f9bd1588d50>
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=84fbac51ffc5f4a8a4f7b1baf5e9b1af174505f5>
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=72b4ca3ec5714d6056654ecb0fdcbd7d954e6984>
    - samba-3.0.31.git-netr\_ServerPasswordSet2.patch
    - samba-3.0.31.git-bug5710.patch
    - samba-3.0.31.git-define-NET\_SRVPWSET2.patch
    - samba-3.0.31.git-net\_io\_q\_srv\_pwset2.patch
- DFS リンクのシンボリックリンク名に日本語を含んでいると、Vista で DFS 機能が動作しない

#### 問題を修正

- <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=92f3ba8e20bd4a5a2afdd13feb5519d723784274>
  - samba-3.0.31-msdfs-ucs2count.patch
- CVE-2008-4314 の脆弱性の修正
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=a0d850515796328d92ca42032c765afce477e039>
    - samba-3.0.31.git-CVE-2008-4314.patch
- DNS が適切に設定されていない Samba サーバーで Active Directory のドメインコントローラーの探索に失敗する問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=58331a118dd6a7fb56e70afe6cf93ef7cfff7e81>
    - samba-3.0.30-get\_dc\_netbios.patch
- winbindd のシグナルハンドラで利用する変数を volatile で定義するように修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=c48a4e52b707a860c2956b3eb9d1d631ffffb1f1>
    - samba-3.0.33.git-winbindd-volatile-sigvars.patch
- strict allocate = yes に設定したときに、Quota 制限を越えるファイルの書き込みエラーの処理を改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=b995677f9895ba7fa9744b079ebc905713e59d40>
    - samba-3.0.31.git-strict\_allocate.patch
- change notify 機能が正常に動作しない場合がある問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=cc97e2a0d51f52a79982ac265f073d3829c1357a>
    - samba-3.0.31.git-notify.patch
- エクスプローラーのセキュリティタブで ACL を変更したときに、ACL が適切に継承されない問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=649572c454328b81714b86d3f99f730bf61625e0>
    - samba-3.0.31.git-bug5873
- CVE-2009-1888 の脆弱性の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=d9bddef7e1dd1e772d528ef15046a37691c13dbf>
    - samba-3.0.34.git-CVE-2009-1888.patch
- Excel でファイルを上書き保存したときに、ACL が適切に設定されない問題の修正

- <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=ef0d72513b5404f176186632aab67d7b87039ba2>
  - samba-3.0.31.git-office-acls-by-winbind-user-bug2346.patch
- CVE-2009-2906 の脆弱性の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=3c5db860ab3665697dfcae2475542c05eff4c22b>
    - samba-3.0.30.git-CVE-2009-2906.patch
- CVE-2009-2813 の脆弱性の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=c7078ea2479e9963f7758e82bda247f48de2d4be>
    - samba-3.0.30.git-CVE-2009-2813.patch

### 3.2 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ

- 日本語 man ページの追加、および日本語 man ページのインストール処理の追加
  - samba-3.0.23d-i18nman.patch
- LDAP サーバーのホスト名にドメイン名が設定されていないとき、DNS による名前解決ができない場合などに、LDAP サーバーに接続できない問題を修正
  - samba-3.0.24-ads\_connect-ip.patch
- Solaris10 の AD 連携環境でパスワード変更ができない問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5432](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5432)
    - samba-3.0.28-pam\_winbind-chauthtok.patch
- パスワードの有効期限に近づいたアカウントに対して、Windows と同じく 14 日前から警告が表示されるように修正
  - samba-3.0.24-pam\_winbind-warn-expires.patch
- Solaris8 など Samba にリンクするスレッドライブラリが原因で、コネクションが頻繁に切断される問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5024](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5024)
    - samba-3.0.24-solaris-libsmbclient-mt.patch
- Samba の提供するコマンド(smbclient など)に設定されているタイムアウト時間(10 秒)を 60 秒に変更する修正
  - samba-3.0.11-timeout.patch
- パスワードバックエンド ldapsam において、LDAP DIT に sambaAlgorithmicRidBase 属性がある場合、もしくは sambaNextRid 属性がない場合に algorithmic rid にフォールバックするための修正 (旧バージョンとの互換性確保)
  - samba-3.0.28a-ldapsam-algorithmic-rid.patch

- Solaris10 の ZFS でボリュームシャドウコピー機能を利用可能にするための、VFS 用モジュールの追加
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-February/051506.html>
    - samba-3.0.24-vfs\_shadow\_copy\_zfs.patch
- ファイル種別ごとに最大サイズを制限する vfs file\_quota モジュールの追加
  - samba-3.0.30-vfs\_file\_quota.patch
- security = server 設定時にドメインコントローラの探索に時間がかかるため、認証ダイアログの表示が遅延する問題の修正
  - samba-3.0.30-improve\_security\_response.patch
- Winbind による Active Directory/NT ドメイン連携時に、smb.conf の template homedir パラメータなどに %G マクロを利用したときに、グループ名が変換されず GID が利用される問題の修正
  - samba-3.0.30-winbind-groupname.patch
- Solaris10 で samba-vscan をビルドできるように修正
  - samba-vscan-0.3.6c-buildsolaris.patch
- net rpc oldjoin 実行時に、LOGNAME 環境変数が設定されていないときは、パスワード入力を求めないように修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5855](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5855)
    - samba-3.0.31-net\_rpc\_oldjoin-username.patch
- log level = 0 で、ビルトインユーザーに関するエラーメッセージが繰り返し表示される問題を改善
  - samba-3.0.31-change\_loglevel\_create\_builtin.patch
- エクスプローラーのセキュリティタブで、CREATOR GROUP の権限が適切に設定できない問題を改善
  - samba-3.0.31-sync\_group\_and\_creatgrp\_perm.patch

### 3.3 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ

OSS テクノロジ提供のパッケージは、Fedora Core 用に提供されていた samba-3.0.24-12.fc7 をもとに作成しています。このパッケージで適用されていた以下のパッチを、OSSTech 提供のパッケージでも適用しています。

- winbindd の通信用パイプのディレクトリを "/tmp/winbindd" から "/var/run/winbindd" に変更する修正
  - samba-3.0.0beta1-pipedir.patch
- smbd、nmbd、winbindd のログファイル名を "log.xxx" から "xxx.log" に変更する修正

- samba-3.0.23-logfiles.patch
- nmbd などに -n オプションで NetBIOS 名を指定することを可能にする修正
  - samba-3.0.0rc3-nmbd-netbiosname.patch
- Winbind 連携利用時にグループ情報のパスワードエントリを " x" の代わりに " \*" を設定する修正
  - samba-3.0.23rc3-passwd.patch
- smbpool コマンドでユーザ名が指定されていないときに、NULL の代わりに " dummy" を設定する修正
  - samba-3.0.21pre1-smbpool.patch
- smbclient の -M オプション利用時に 138 番ポートを利用するように変更
  - samba-3.0.13-smbclient.patch

## 4. Samba 3.0.30 の修正内容

OSS テクノロジ提供の Samba 3.0.30-1.4\_OSSTECH には、以下のパッチが適用されています。

### 4.1 Samba 3.0.31 に統合予定の修正

- 信頼関係を結んだ AD ドメインに対して、wbinfo -u が動作しない問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=0e407e77ad5af4bb78b1e6da247398f2677618ee;hp=8f076ca8538df1fe7bba1e3c5497076141849e8c>
    - samba-3.0.30-winbindd\_pdc\_reverting.patch
- NT4.0 ドメインへのドメイン参加に失敗する問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=6cb775d5b46dd091739ced9fde92e5620a4373dd;hp=0e407e77ad5af4bb78b1e6da247398f2677618ee>
    - samba-3.0.30-joinNT4domain.patch
- winbindd のシグナル処理を改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=d740f5cc0677ae285dcae1729a194d775a6560ff;hp=94148384a5d6890c0534c3baebee1a1c61a7705b>
    - samba-3.0.30-bug5504.patch
- idmap の未初期化メモリの利用を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=afce2cd242b1cbfb9d7e837a9f6d3879112b72e3;hp=d740f5cc0677ae285dcae1729a194d775a6560ff>
    - samba-3.0.30-idmap\_memleak.patch
- PDC 上で winbindd を実行した場合の wbinfo -u の処理の改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=92d067497c60c5eab43bae11e6c1236e6cf760bb;hp=afce2cd242b1cbfb9d7e837a9f6d3879112b72e3>
    - samba-3.0.30-split\_winbindd\_passdb.patch
- winbindd がグループ情報取得時に異常終了する問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=89b771ea2dc90e3017f1aa26f352afce9d0c0b65;hp=c31b83d503289a4ec337c128d63adfc32087fbc>
    - samba-3.0.30-winbind\_getgroups.patch
- SMB のヘッダサイズの計算間違いを修正
  - <http://gitweb.samba.org/?>

[p=samba.git;a=commitdiff;h=c537b4376db8eb17904d2cf5fa3ec1fa32548742;hp=89b771ea2dc90e3017f1aa26f352afce9d0c0b65](http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=c537b4376db8eb17904d2cf5fa3ec1fa32548742;hp=89b771ea2dc90e3017f1aa26f352afce9d0c0b65)

- samba-3.0.30-clibuffers\_headersize.patch
- winbindd で信頼関係先のドメインとのオンライン/オフラインのステータス処理の誤りを修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=ad29a26c4226aa4d4a6a586413dcb0749bfea6b3>
    - samba-3.0.30-trusted\_domain\_online.patch
- NT ドメイン参加時のパスワードレベルの設定処理を改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=008c7535b4bbd804952ac3d3c51da4223000ce60;hp=ad29a26c4226aa4d4a6a586413dcb0749bfea6b3>
    - samba-3.0.30-domain\_join\_setpwd\_level.patch
- Windows 2000 Server の AD ドメインに参加できない問題の修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=52f916c611dfb53b38b15ee01ffce120e9fd3e43;hp=7fdb5eb6d7dd42fa036edf216d66fea582b6a3f4>
    - samba-3.0.30-w2k\_adsjoin.patch
- pam\_winbind でキャッシュの認証情報の扱いを改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=36729f6f1680310d51f126aa4b7760f11e405a9c;hp=db528addf9fa8b0a4ce3b1270cd492725e6cd4d2>
    - samba-3.0.30-pam\_sm\_chauthtok.patch
- 複数のドメインコントローラーが存在するときに winbindd が適切にドメインコントローラーを探索できない問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=1061773401a2d9e0c7c73b7818cf16dcf2f018d6;hp=36729f6f1680310d51f126aa4b7760f11e405a9c>
    - samba-3.0.30-winbindd\_clear\_dc.patch
- パスワードの有効期限が切れた際に、「password last set time」をクリアしないように修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=c2e96cf6c32a646cdcf803144f115680690e15a8;hp=c51dc21e651849f373ea8059381c83f41d99ecac>
    - samba-3.0.30-notreset\_pwdlastsettime.patch
- pam\_winbind でパスワード変更時のキャッシュ情報の扱いを改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=5ec31972e05b0479c615bf64f8fa147ab501345b;hp=80c39eeffe0ad43d3498ae2eae3aeb9c259c79>
    - samba-3.0.30-pam\_winbind\_update\_passwd.patch

- winbindd のオフライン機能の切り替え処理を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=1ad5cd93e69d8b82a71690d16df7e5cb2078bb65;hp=3fa483a54d68fceb204f532eaff01e1dff19f76>
    - samba-3.0.30-winbind\_set\_domain\_offline.patch
- ドメイン名に「.(ドット)」を含む場合に winbindd が正常動作しない問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=3e0a19a9494dd7ce95e563476d0d2af81aa196e8;hp=48ce0e68353c42296ed6a3b59fa3430f80bde236>
    - samba-3.0.30-winbindd\_dotworkgroup.patch
- 時間の単位を変換する処理を改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=d183dc676db0d91ae6b0759c8fd094c4a888d29d;hp=3e0a19a9494dd7ce95e563476d0d2af81aa196e8>
    - samba-3.0.30-bug5531
- マシンアカウントでのパスワード次回変更フラグのチェックを改善
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=2a3e2c9550acb1c55c0c55e4bfb0faaadad2f6fd;hp=c11cde5187c5f71f08700955bb45caee9d4e8059>
    - samba-3.0.30-bug5555.patch
- winbindd の処理が無限ループする問題を修正
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=132a5f4a5740f8a4e3bd634af654c9761c11aa1a;hp=2a3e2c9550acb1c55c0c55e4bfb0faaadad2f6fd>
    - samba-3.0.30-bug5551.patch
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=269521ee08b962040afe63ea74130ba27f29e092>
    - samba-3.0.30-bug5551\_2.patch
  - <http://gitweb.samba.org/?p=samba.git;a=commit;h=ee7af33ec6e752b1b1898b50aebc96e66ea423db>
    - samba-3.0.30-bug5551\_3.patch

## 4.2 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ

- 日本語 man ページの追加、および日本語 man ページのインストール処理の追加
  - samba-3.0.23d-i18nman.patch
- LDAP サーバーのホスト名にドメイン名が設定されていないとき、DNS による名前解決ができ

ない場合などに、LDAP サーバーに接続できない問題を修正

- samba-3.0.24-ads\_connect-ip.patch
- Solaris10 の AD 連携環境でパスワード変更ができない問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5432](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5432)
    - samba-3.0.28-pam\_winbind-chauthtok.patch
- パスワードの有効期限に近づいたアカウントに対して、Windows と同じく 14 日前から警告が表示されるように修正
  - samba-3.0.24-pam\_winbind-warn-expires.patch
- Solaris8 など Samba にリンクするスレッドライブラリが原因で、コネクションが頻繁に切断される問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5024](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5024)
    - samba-3.0.24-solaris-libsmbclient-mt.patch
- acl group control パラメーターか、dos filemode パラメーターが設定されているときに、ファイルの書き込み権限を持つユーザーが ACL を変更可能にできるように修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5202](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5202)
    - samba-3.0.24-dos\_filemode.patch
- Samba の提供するコマンド(smbclient など)に設定されているタイムアウト時間(10 秒)を 60 秒に変更する修正
  - samba-3.0.11-timeout.patch
- パスワードバックエンド ldapsam において、LDAP DIT に sambaAlgorithmicRidBase 属性がある場合、もしくは sambaNextRid 属性がない場合に algorithmic rid にフォールバックするための修正 (旧バージョンとの互換性確保)
  - samba-3.0.24-ldapsam-algorithmic-rid.patch
- Solaris10 の ZFS でボリュームシャドウコピー機能を利用可能にするための、VFS 用モジュールの追加
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-February/051506.html>
    - samba-3.0.24-vfs\_shadow\_copy\_zfs.patch
- ファイル種別ごとに最大サイズを制限する vfs file\_quota モジュールの追加
  - samba-3.0.30-vfs\_file\_quota.patch
- Microsoft Office など、ACL(アクセス制御)がかかった Excel ファイルなどを上書き保存すると、ACL の設定が正しく反映されない問題の修正
  - samba-3.0.30-improve\_msofficeacl.patch
- security = server 設定時にドメインコントローラの探索に時間がかかるため、認証ダイアログの表示が遅延する問題の修正
  - samba-3.0.30-improve\_security\_server.patch
- Winbind による Active Directory/NT ドメイン連携時に、smb.conf の template homedir パラ

メータなどに%G マクロを利用したときに、グループ名が変換されず GID が利用される問題の修正

- samba-3.0.30-winbind-groupname.patch
- VFS の recycle モジュール利用時に、他のユーザーによって削除されてゴミ箱に移動されたファイルにアクセスした際に、ファイルアクセス時刻が更新されるように変更
  - samba-3.0.28a-vfs\_recycle-touch.patch
- autoconf 2.60 でビルドできない問題を修正
  - [https://bugs.gentoo.org/show\\_bug.cgi?id=217272](https://bugs.gentoo.org/show_bug.cgi?id=217272)
    - samba-3.0.28a-AC\_USE\_SYSTEM\_EXTENSIONS.patch
- Solaris10 で samba-vscan をビルドできるように修正
  - samba-vscan-0.3.6c-buildsolaris.patch

### 4.3 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ

OSS テクノロジ提供のパッケージは、Fedora Core 用に提供されていた samba-3.0.24-12.fc7 をもとに作成しています。このパッケージで適用されていた以下のパッチを、OSSTech 提供のパッケージでも適用しています。

- winbindd の通信用パイプのディレクトリを” /tmp/winbindd”から” /var/run/winbindd”に変更する修正
  - samba-3.0.0beta1-pipedir.patch
- smbd、nmbd、winbindd のログファイル名を” log.xxx”から” xxx.log”に変更する修正
  - samba-3.0.23-logfiles.patch
- nmbd などに-n オプションで NetBIOS 名を指定することを可能にする修正
  - samba-3.0.0rc3-nmbd-netbiosname.patch
- Winbind 連携利用時にグループ情報のパスワードエントリを” x”の代わりに” \*”を設定する修正
  - samba-3.0.23rc3-passwd.patch
- smbpool コマンドでユーザ名が指定されていないときに、NULL の代わりに” dummy”を設定する修正
  - samba-3.0.21pre1-smbpool.patch
- smbclient の-M オプション利用時に 138 番ポートを利用するように変更
  - samba-3.0.13-smbclient.patch

## 5. Samba 3.0.24 の修正内容

OSS テクノロジ提供の Samba 3.0.24-1.47\_OSSTECH には、以下のパッチが適用されています。

### 5.1 Windows Vista 対応パッチ

<http://www.samba.org/samba/patches/> にて提供されている samba 3.0.24 用パッチの適用

- share\_security\_ntlmv2.diff
  - smb.conf で " security = share" の共有認証モードにおいて、Windows Vista クライアントが NTLMv2 認証で、ワークグループ情報を利用するための修正
- spoolss.diff
  - Windows Vista クライアントから Samba のプリントサーバ機能を利用するときに正常に動作しない問題を修正
  - Windows Vista クライアントから Samba サーバにプリンタドライバをアップロードする機能が動作しない問題を修正
- vista\_backup\_acl.diff
  - Windows Vista のバックアップ機能で Samba サーバの共有フォルダにバックアップを行う際に、エラーとなる問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4361](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4361)
- variable\_os\_expansion.diff
  - smb.conf のクライアント OS マクロ "%a" で、Windows Vista を判定可能にするための修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4093](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4093)
- dfs\_referral.diff
  - Samba サーバのある共有フォルダに複数の MS-DFS リンクを作成した場合に、Windows Vista クライアントから MS-DFS リンクが正常に動作しない問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4356](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4356)
- directory\_delete.diff
  - Samba の共有フォルダ内に作成されたディレクトリに、複数のディレクトリが作成されており、そのうち1つのディレクトリにオフラインモードが有効になっている場合に、Windows Vista クライアントから、ディレクトリを削除できない問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4188](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4188)

以上のパッチをまとめたものが **samba-3.0.24-vista-patchset.patch** です。

<http://www.samba.org/samba/patches/> にて提供されている samba 3.0.24 用以外の Windows Vista パッチの適用

- smbclient から Samba サーバに接続したときに、%a マクロが Windows Vista クライアントと

して扱われる問題の修正

- <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-February/052008.html>
  - `samba-3.0.24-arch_macro.patch`
- Vista クライアントから接続したときに %a マクロが Windows 2000 と同等になってしまう問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4484](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4484)
    - `samba-3.0.24-vista-patchset.patch` に修正内容が含まれます。
- Windows Vista クライアントから Samba サーバにプリンタドライバのアップロード機能が正常に動作しない問題を修正 (Windows Vista 対応の spoolss.diff パッチの適用漏れの修正)
  - <http://websvn.samba.org/cgi-bin/viewcvs.cgi?view=rev&root=samba&rev=21100>
    - `samba-3.0.24-vista-patchset-misc.patch`
- Windows Vista SP1 で Active Directory のドメインメンバーとなっている Samba サーバのファイル共有にアクセスできない問題を修正
  - <http://git.samba.org/?p=samba.git;a=commitdiff;h=f652ce4ab63ba24b298142099efd751d270d1e07>
    - `samba-3.0.24-vistasp1_krb5.patch`

## 5.2 セキュリティ修正パッチ

- `smbd` の SID 変換ルーチンに含まれる脆弱性のため、一般ユーザが root 権限を取得できる可能性がある問題を修正 (CVE-2007-2444)
- CVE-2007-2444 の修正パッチにおいて、シェルで有効な文字のリストに「c」が抜けていた問題の修正
  - `samba-3.0.24-CVE-2007-2444_v2.patch`
- リモートからのコード実行を可能にするヒープオーバーフローの脆弱性の修正 (CVE-2007-2446)
- CVE-2007-2446 の修正に伴って、ドメインメンバーサーバの共有にアクセスできなくなる問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4637](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4637)
    - `samba-3.0.24-CVE-2007-2446_v2.patch`
- 正しくエスケープされていない文字が `/bin/sh` に渡されることによってリモートからコマンドを実行できる可能性がある脆弱性の修正
- CVE-2007-2444 の修正に伴って、"force group"機能が正常に動作しなくなる問題を修正
  - `samba-3.0.24-CVE-2007-2447_v2.patch`
- `nmbd` のドメインログオン処理に含まれるバッファオーバーフローの脆弱性を修正 (CVE-2007-6015)

- samba-3.0.27a-CVE-2007-6015.patch
- nmbd の WINS サーバー機能の名前解決処理に含まれる脆弱性を修正(CVE-2007-5398)
  - samba-3.0.26a-CVE-2007-5398.patch
- Samba の受信パケットの処理に含まれるヒープオーバーフローの脆弱性を修正(CVE-2008-1105)
  - samba-3.0.24-CVE-2008-1105.patch

### 5.3 OSSTech 提供 Samba に適用しているその他のパッチ

- 共有フォルダに “hide unreadable = yes”を設定すると、MS-DFS リンクが表示されなくなる問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=3319](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=3319)
    - samba-3.0.23d-ignore-hide\_xxxx-for-msdfs.patch
- Samba の提供するコマンド(smbclient など)に設定されているタイムアウト時間(10 秒)を 60 秒に変更する修正
  - samba-3.0.11-timeout.patch
- Office 2000、Office XP、Office 2003などで、ACL(アクセス制御)がかかった Excel ファイルなどを開くと、ACL の設定が正しく反映されず、更新不可(参照のみ可能)となってしまう問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=2346](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=2346)
    - samba-3.0.20a-try\_chown.patch
    - samba-3.0.23d-bug-2239.patch
- Winbind による Active Directory/NT ドメイン連携時に ID マップバックエンド rid を利用しているとき、信頼関係を結んだドメインのユーザアカウントも利用するための修正
  - samba-3.0.23d-idmap\_rid\_multipledomain\_support.patch
- Winbind による Active Directory/NT ドメイン連携時に、smb.conf の template homedir パラメータなどに %G マクロを利用したときに、グループ名が変換されず GID が利用される問題の修正
  - samba-3.0.24-winbind-groupname.patch
- unix charset = EUCJP-MS 環境下で、ローマ数字の大文字(I、II、III)などを大文字・小文字変換した際に、バイト数が異なるため共有フォルダへのアクセスなどに失敗する問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=1029](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=1029)
    - samba-3.0.23d-strupper\_m.patch
    - samba-3.0.23d-struplower.patch
- 日本語 man ページの追加、および日本語 man ページのインストール処理の追加
  - samba-3.0.23d-i18nman.patch

- Linux 以外のプラットフォーム(Solaris など)で mlock()の際のメモリアライン処理の修正 (Samba 3.0.25 からのバックポート)
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-February/051863.html>
    - samba-3.0.24-memalign-for-mlock.patch
- winbindd のメモリリークの修正 (Samba 3.0.25 からのバックポート)
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-February/051849.html>
    - samba-3.0.25svn-winbindd\_group-memoryleak.patch
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-March/052606.html>
    - samba-3.0.24-winbind-ads-enum-groupmembers.patch
- LDAP 連携時に、LDAP にアクセスする際に適切なパーミッションが設定されていない問題の修正 (Samba 3.0.25 からのバックポート)
  - <http://websvn.samba.org/cgi-bin/viewcvs.cgi?view=rev&rev=21507>
    - samba-3.0.25svn-become\_root-to-access-ldap.patch
- Winbind による Active Directory 連携時に ID マップバックエンド ad ID を利用した際に、winbindd が異常終了する問題の修正 (samba 3.0.25 からのバックポート)
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-cvs/2007-January/073777.html>
    - samba-3.0.24-idmap\_ad-use-attr\_uidnumber.patch
- Winbind による Active Directory 連携時に wbinfo のオプションとして—group-info を利用可能にするための修正(samba 3.0.25 からのバックポート)
  - samba-3.0.25svn-wbinfo-groupinfo.patch
- AD サーバへの接続失敗時に ldap\_open() の失敗理由をエラーログに出力するための修正 (samba 3.0.25 からのバックポート)
  - samba-3.0.24-ldap\_open-debug.patch
- Solaris において krb5\_locate\_kdc() が衝突しクラッシュする問題の修正 (samba 3.0.25 からのバックポート)
  - samba-3.0.24-krb5\_locate\_kdc.patch
- パスワードバックエンド ldapsam において、LDAP DIT に sambaAlgorithmicRidBase 属性がある場合、もしくは sambaNextRid 属性がない場合に algorithmic rid にフォールバックするための修正 (旧バージョンとの互換性確保)
  - samba-3.0.24-ldapsam-algorithmic-rid.patch
- SMB の chain reply 処理でバッファサイズが適切でない問題を修正
  - <http://websvn.samba.org/cgi-bin/viewcvs.cgi?view=rev&root=samba&rev=21731>
    - samba-3.0.24-chain\_reply-new\_size.patch
- security=share の設定時に、SMB パケット内に格納されている共有名のバッファの位置を正しく扱っていない問題の修正
  - samba-3.0.25svn-security-share.patch

- winbind 利用時に Active Directory に多数のユーザ/グループエントリが登録されている場合にエントリの取得に失敗する問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=3024](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=3024)
    - samba-3.0.25svn-winbind-ads-user-count.patch
- パスワードの有効期限を無期限に延長することを可能にする修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=2836](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=2836)
    - samba-3.0.24-password-never-expires.patch
- LDAP サーバからの切断を検出せずに、既に切断された LDAP 接続で 10 回のリトライ(約 10 秒間)後、LDAP サーバに再接続する問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4372](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4372)
    - samba-3.0.25svn-ldap-rebind-on-serverdown.patch
- Solaris10 の ZFS でボリュームシャドウコピー機能を利用可能にするための、VFS 用モジュールの追加
  - <http://lists.samba.org/archive/samba-technical/2007-February/051506.html>
    - samba-3.0.24-vfs\_shadow\_copy\_zfs.patch
- security = server 設定時にドメインコントローラの探索に時間がかかるため、認証ダイアログの表示が遅延する問題の修正
  - samba-3.0.24-improve\_security\_server.patch
- pam\_smbpass.so モジュールを利用して、passwd コマンドで Samba のパスワード変更を試みると、パスワード変更失敗する問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4759](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4759)
    - samba-3.0.25bsvn-pdb\_ldap-ber\_printf-n.patch
- LDAP サーバーのホスト名にドメイン名が設定されていないとき、DNS による名前解決ができない場合などに、LDAP サーバーに接続できない問題を修正
  - samba-3.0.24-ads\_connect-ip.patch
- Solaris10 の PAM+Winbind 環境で pam\_winbind を利用したパスワード変更機能が動作しない問題を修正
  - samba-3.0.24-pam\_winbind-chauthtok.patch
- パスワードの有効期限に近づいたアカウントに対して、Windows と同じく 14 日前から警告が表示されるように修正
  - samba-3.0.24-pam\_winbind-warn-expires.patch
- VFS の recycle モジュールで、min size パラメーター以下のサイズのファイルを無視するように修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4409](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4409)
    - samba-3.0.24-vfs\_recycle-minsize.patch
- VFS の recycle モジュール利用時に、他のユーザーによって削除されてゴミ箱に移動された

ファイルにアクセスした際に、ファイルアクセス時刻が更新されるように変更

- samba-3.0.24-vfs\_recycle-touch.patch
- ユーザーマネージャーの「パスワードの変更を禁止する」機能をバックポート
  - samba-3.0.24-passwdcannotchange.patch
- 64bit 環境で、Samba のユーザーパスワード有効期限などに関する属性が 64bit で作成されませんが、適切に処理されていなかった問題を修正
  - samba-3.0.24-improve\_64bit\_time\_t.patch
- Solaris8 など Samba にリンクするスレッドライブラリが原因で、コネクションが頻繁に切断される問題を修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5024](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5024)
    - samba-3.0.24-solaris-libsmbclient-mt.patch
- パスワード変更時に、LDAP に設定されたパスワードポリシーを満たさなかった場合のエラーコードを NT\_STATUS\_PASSWORD\_RESTRICTION に変更
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5163](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5163)
    - samba-3.0.28.svn-ldap-password-policy.patch
- acl group control パラメーターか、dos filemode パラメーターが設定されているときに、ファイルの書き込み権限を持つユーザーが ACL を変更可能にできるように修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=5202](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=5202)
    - samba-3.0.24-dos\_filemode.patch
- nmbd の変数初期化漏れの修正
  - [http://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=498](http://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=498)
    - samba-3.0.27.svn-nmbd-bogus-interface.patch
- Solaris10 で samba-vscan モジュールをビルド可能に修正
  - samba-vscan-buildsolaris.patch
- samba-vscan の sophie モジュールでファイル名が 256 バイトに制限されていた問題を修正
  - samba-vscan-0.3.6b-sophie\_pathlen.patch

## 5.4 OSSTech パッケージのベースとした Fedora Core 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ

OSS テクノロジー提供のパッケージは、Fedora Core 用に提供されていた samba-3.0.24-12.fc7 をもとに作成しています。このパッケージで適用されていた以下のパッチを、OSSTech 提供のパッケージでも適用しています。

- winbindd の通信用パイプのディレクトリを "/tmp/winbindd" から "/var/run/winbindd" に変

#### 更する修正

- samba-3.0.0beta1-pipedir.patch
- smbd、nmbd、winbindd のログファイル名を " log.xxx" から " xxx.log" に変更する修正
  - samba-3.0.23-logfiles.patch
- nmbd などに -n オプションで NetBIOS 名を指定することを可能にする修正
  - samba-3.0.0rc3-nmbd-netbiosname.patch
- Winbind 連携利用時にグループ情報のパスワードエントリを " x" の代わりに " \*" を設定する修正
  - samba-3.0.23rc3-passwd.patch
- smbpool コマンドでユーザ名が指定されていないときに、NULL の代わりに " dummy" を設定する修正
  - samba-3.0.21pre1-smbpool.patch
- smbclient の -M オプション利用時に 138 番ポートを利用するように変更
  - samba-3.0.13-smbclient.patch
- msdfs root パラメータのデフォルト値を Samba 3.0.25 と同様に yes から no に変更
  - samba-3.0.24-msdfs-root-no.patch
- pam\_winbind がドメインコントローラにないユーザ認証に対して常にエラーログを出力してしまう問題の修正
  - [https://bugzilla.samba.org/show\\_bug.cgi?id=4094](https://bugzilla.samba.org/show_bug.cgi?id=4094)
    - samba-3.0.24-pam\_winbind-fixes.patch
- ライブラリ build 時の libnss モジュールのチェックを追加
  - samba-3.0.24-enable\_pam\_nss\_tests.patch
- libnss\_wins のシンボル名が解決できない問題の修正
  - samba-3.0.24-nss\_wins.patch
- Windows Vista で msdfs のエラーが発生したときに、適切なエラーメッセージを返却するための修正
  - samba-3.0.24-vista\_msdfs\_errcodes.patch

## 6. 更新履歴

- 2013年8月26日: 第23版 (samba-3.0.35-1.14.osstech)
  - samba-3.0.35 パッケージに対して次のパッチの記載を追加
    - samba-3.0-CVE2013-4124
- 2013年3月5日: 第22版 (samba-3.0.35-1.13.osstech)
  - samba-3.0.35 パッケージに対して次のパッチの記載を追加
    - samba-3.0-CVE2013-0213-CVE-2013-0214
- 2012年4月17日: 第21版 (samba-3.0.35-1.12.osstech)
  - samba-3.0.35 パッケージに対して、次のパッチの記載を追加
    - samba-3.0-CVE-2012-0870
    - samba-3.0-CVE-2012-1182
- 2011年5月11日: 第20版 (samba-3.0.35-1.10.osstech)
  - samba-3.0.35 パッケージに対して、次のパッチの記載を追加
    - samba-3.0.31-winbind-select-strerror.patch
    - samba-3.0.37-CVE-2010-3069.patch
    - samba-3.0.35-delete-readonly.patch
    - samba-3.0.28a-CVE-2011-0719.patch
- 2010年7月2日: 第19版 (samba-3.0.35-1.5.osstech)
  - samba-3.0.35 パッケージに対して、次のパッチの記載を追加
    - samba-3.0.37-CVE-2010-2063.patch
- 2010年2月5日: 第18版 (samba-3.0.35-1.4\_OSSTECH)
  - samba-3.0.35 パッケージに関する記載を追加
  - samba-3.0.31 パッケージに対して、次のパッチの記載を追加
    - samba-3.0.31.git-strict\_allocate.patch
    - samba-3.0.31.git-notify.patch
    - samba-3.0.34.git-CVE-2009-1888.patch
    - samba-3.0.31.git-bug5873.patch
    - samba-3.2.14-inheritacl\_problem.patch
    - samba-3.0.31-change\_loglevel\_create\_builtin.patch
    - samba-3.0.31-sync\_group\_and\_creatgrp\_perm.patch
    - samba-3.0.31.git-office-acls-by-winbind-user-bug2346.patch
    - samba-3.0.30.git-CVE-2009-2906.patch

- samba-3.0.30.git-CVE-2009-2813.patch
- 2009年5月18日:第17版 (samba-3.0.31-1.19\_OSSTECH)
  - 以下の新規パッチに関して記載を追加
    - samba-3.0.30-get\_dc\_netbios.patch
    - samba-3.0.33.git-winbindd-volatile-sigvars.patch
- 2008年12月2日: 第16版 (samba 3.0.31-1.16\_OSSTECH)
  - セキュリティパッチ(CVE-2008-4314)の脆弱性修正
  - 以下の新規パッチに関して記載を追加
    - samba-3.0.31.git-nmbd-iface\_count.patch
    - samba-3.0.31.git-nss\_winbind-NSS\_UNAVAIL.patch
    - samba-3.0.25-smbc\_set\_credentials.patch
    - samba-3.0.31.git-libsmbclient-acls-on-dfs.patch
    - samba-3.0.31.git-vista-smb-signing.patch
    - samba-3.0.31.git-acls-cancel-inheritance.patch
    - samba-3.0.31.git-winbindd-free-extra\_data.patch
    - samba-3.0.31.git-netr\_ServerPasswordSet2.patch
    - samba-3.0.31.git-bug5710.patch
    - samba-3.0.31.git-define-NET\_SRVPWSET2.patch
    - samba-3.0.31.git-net\_io\_q\_srv\_pwset2.patch
    - samba-3.0.31-net\_rpc\_oldjoin-username.patch
    - samba-3.0.31-msdfs-ucs2count.patch
- 2008年8月12日: 第15版 (samba 3.0.31-1.5\_OSSTECH)
  - samba 3.0.31 ベースにアップデート
- 2008年6月26日: 第14版 (samba 3.0.30-1.4\_OSSTECH)
  - samba 3.0.30 ベースにアップデート
  - samba 3.0.24 に適用されていたパッチのうち、必要なパッチを適用
- 2008年6月10日: 第13版 (samba 3.0.24-1.47\_OSSTECH)
  - vfs file\_quota モジュールの容量チェック時の不具合を修正
  - samba パッケージから smbldap-tools 関連ファイルを削除
- 2008年6月4日: 第12版 (samba 3.0.24-1.45\_OSSTECH)
  - Windows Vista SP1 利用時の不具合修正
    - samba-3.0.24-vistasp1\_krb5.patch
  - samba-vscaan の sophie モジュールの不具合修正

- samba-vscan-0.3.6b-sophie\_pathlen.patch
- セキュリティパッチの適用
  - CVE-2008-1105 の脆弱性修正
    - samba-3.0.24-CVE-2008-1105.patch
  - WINS 複製用スクリプト追加
    - wins-push.pl、wins-push.conf
- 2008年3月4日: 第11版(samba 3.0.24-1.38\_OSSTECH)
  - vfs\_file\_quota モジュール追加
    - samba-3.0.24-vfs\_file\_quota.patch
  - nmbd の変数初期化漏れの修正
    - samba-3.0.27.svn-nmbd-bogus-interface.patch
  - Solaris10(U4)対応
  - USRMGR 用スクリプトの改善
  - Solaris10 用 samba-vscan モジュール対応
    - samba-vscan-buildsolaris.patch
- 2008年1月18日: 第10版(samba 3.0.24-1.34\_OSSTECH)
  - セキュリティパッチの追加
    - samba-3.0.24-CVE-2007-4572.patch
    - samba-3.0.27a-CVE-2007-6015.patch
  - パスワード変更時に LDAP のパスワードポリシーを満たさなかった場合のエラーコードを修正
    - samba-3.0.28.svn-ldap-password-policy.patch
  - acl group control パラメーター、もしくは dos filemode パラメーターが設定されているときに、ファイルの書き込み権限を持つユーザーが ACL の設定を変更可能に修正
    - samba-3.0.24-dos\_filemode.patch
- 2007年10月25日: 第9版 (samba 3.0.24-1.29\_OSSTECH)
  - pam\_smbpasswd の PAM モジュールのパスワード変更に関する問題を修正
    - samba-3.0.25bsvn-pdb\_ldap-ber\_printf-n.patch
  - 参照する LDAP サーバーのホスト名にドメイン名が設定されていないとき、AD への接続に失敗する問題の修正
    - samba-3.0.25bsvn-pdb\_ldap-ber\_printf-n.patch
  - Solaris10 で PAM+Winbind 構成のときに、pam\_smbpass によるパスワード変更が行えない問題を修正。
    - samba-3.0.24-pam\_winbind-chauthtok.patch

- パスワードの有効期限の 14 日前から、有効期限が近づいていることを示すメッセージを表示するように変更
  - samba-3.0.24-pam\_winbind-warn-expires.patch
- ごみ箱フォルダに移動できる最小のファイルサイズ制限を指定可能に改善
  - samba-3.0.24-vfs\_recycle-minsize.patch
- ごみ箱機能利用時に、他のユーザーによって削除されたファイルにアクセス可能にするための修正
  - samba-3.0.24-vfs\_recycle-touch.patch
- ユーザーマネージャーで「パスワードの変更を禁止する」機能を利用可能に改善
  - samba-3.0.24-passwdcannotchange.patch
  - samba-3.0.24-improve\_64bit\_time\_t.patch
- Solaris8 などでリンクされるスレッドライブラリが原因で、コネクションが一定時間を越えると切断されてしまう問題を修正
  - samba-3.0.24-solaris-libsmbclient-mt.patch
- 2007 年 7 月 9 日: 第 8 版 (samba 3.0.24-1.22\_OSSTECH)
  - security = server 設定時にクライアント側で認証ダイアログの表示が遅延する問題の改善
    - samba-3.0.24-improve\_security\_server.patch
  - Solaris ZFS でボリュームシャドウコピー機能を利用するための VFS モジュールの追加
    - samba-3.0.24-vfs\_shadow\_copy\_zfs.patch
  - smbclient で日本語共有名が利用できない問題の修正
    - samba-3.0.24-tar\_options.patch の削除
- 2007 年 6 月 10 日: 第 7 版(samba 3.0.24-1.19\_OSSTECH)
  - セキュリティパッチ(CVE-2007-2447)の不具合の修正
    - samba-3.0.24-CVE-2007-2447\_v2.patch
  - セキュリティパッチ(CVE-2007-2446)の不具合の修正
    - samba-3.0.24-CVE-2007-2446\_v2.patch
  - セキュリティパッチ(CVE-2007-2444)のパッチの統合
    - samba-3.0.24-CVE-2007-2444\_v2.patch
- 2007 年 6 月 4 日: 第 6 版 (samba 3.0.24-1.17\_OSSTECH)
  - セキュリティパッチ(CVE-2007-2444)の不具合修正
    - samba-3.0.24-CVE-2007-2444-fix.patch
  - samba-3.0.25 に適用された修正のバックポート
    - samba-3.0.25svn-ldap-rebind-on-serverdown.patch
- 2007 年 5 月 15 日: 第 5 版(samba 3.0.24-1.15\_OSSTECH)

- セキュリティパッチの追加
    - samba-3.0.24-CVE-2007-2444.patch
    - samba-3.0.24-CVE-2007-2446.patch
    - samba-3.0.24-CVE-2007-2447.patch
  - Fedora Core のパッケージに適用されたパッチの追加
    - samba-3.0.24-enable\_pam\_nss\_tests.patch
    - samba-3.0.24-nss\_wins.patch
    - samba-3.0.24-vista\_msdfs\_errcodes.patch
  - samba-3.0.25 に適用された修正のバックポート
    - samba-3.0.24-chain\_reply-new\_size.patch
    - samba-3.0.25svn-security-share.patch
    - samba-3.0.25svn-winbind-ads-user-count.patch
  - その他のパッチ
    - samba-3.0.24-password-never-expires.patch
- 
- 2007 年 4 月 12 日 : 第 4 版 (samba 3.0.24-1.11\_OSSTECH)
    - 一部のパッチファイル名の誤りを訂正
    - 「IDMAP\_XX」という表現を「ID マップバックエンド XX」に変更
  - 2007 年 4 月 11 日 : 第 3 版 (samba 3.0.24-1.11\_OSSTECH)
    - パッチファイル名を追加
  - 2007 年 4 月 9 日 : 第 2 版 (samba 3.0.24-1.11\_OSSTECH)
  - 2007 年 4 月 5 日 : 初版 (samba 3.0.24-1.9\_OSSTECH)